

## 10309その他の繊維製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	14~15	工場内でカーテン生地を裁断機で切る作業中に、カッターが切れにくくなったため機械を止め、カッター部分を研磨するボタンを押したとき、誤って右手を刃の近くに持っていき、右手中指を負傷した。	37	8	169	100 ~ 299
2	2017	12	9~10	当社工場内において、同僚3人で脚立と椅子を使用して、約1m50cmの高さにあるダクトの中の綿ゴミを取り除く作業中、誤って身体のバランスを崩し、高所より地上に転落した。その際、腰の下部付近を圧迫骨折し、首全般にわたり損傷を受けた。	69	1	371	10 ~ 29
3	2017	12	16~17	工場で玄関ドア上部の硝子部分を掃除するため、45cm程の高さの台にのって作業していたところ、誤って足を踏み外し、右踵から落下し、骨折と診断された。	64	1	371	10 ~ 29
4	2017	12	15~16	ニット工場構内で、編み上がった反物にキズ等の有無を検反機で検査するため、編み上がった反物が置かれている台車を検反機の横まで運び、その台車から1反約15~17kgの反物を持ち、検反機前に下ろしたとき、腰に痛みを感じた。	56	19	611	30 ~ 49
5	2017	12	17~18	会社敷地内にある駐車場に停めてある自分の自動車のところへ帰宅する為に歩いて行こうとしたとき、駐車場の路面が凍結しており、それに気づかず歩き、滑って転倒し右足関節外果、右第5中足骨基部の2箇所を骨折した。	59	2	419	50 ~ 99

6	2017	11	12～ 13	昼食後、工場内のロッカーに車のキーを取りに行く際に、工場内で履くシューズに履き替えなくて入った。工場内の床面は、コンクリートの上に塗料がコーティングされている為、靴を履いていないと滑り易い。キーを取りに行く際に滑って左膝の内側を強打して負傷した。	63	2	417	30 ～ 49
7	2017	11	16～ 17	事業所内で手袋の縫製作業仕上げの作業中、右手人指し指が製品に当たりタコになっていたところが傷になり絆創膏を貼っていたが、腫れてきたので病院で診てもらった。（怪我した日からしばらくは様子を見ながら仕事をしていた。）	75	90	911	1～ 9
8	2017	11	17～ 18	クッション吹き込み機に綿が詰まったので指を押し込んでいたところ中指が機械に挟まれ、右中指を切断した。	19	7	169	1～ 9
9	2017	10	10～ 11	弊社テント工場において大型テントをミシンで縫製作業中、誤ってミシン針が左手第2指を貫通し負傷した。	23	7	169	10 ～ 29
10	2017	10	11～ 12	被災者は、当社工場内において、陸上競技用マット（走り棒高跳び用）を製作中、マットの接続用ベルト（長さ40cm、幅6cm）の端に折り目をつけようと左手示指で押さえ、プラスチック製重さ550kgのハンマーで叩こうとしたところ、誤って指に当たってしまい負傷した。	46	7	364	1～ 9
11	2017	9	11～ 12	タフト製織機で作業中、糸切れしたので、糸を送るプーラーロールに切れた糸をはさみ手をそえて、自ら動かした為、左手ひとさし指をプーラーロールにはさんでしまい、骨折した。	32	7	169	1～ 9
12	2017	9	8～9	整経作業の途中、糸切れがありそれを直す時、糸のケースをまたごうとして足がケースに引っかかり、転倒した。	64	2	416	10 ～ 29
13	2017	8	11～ 12	工場内において、壁面に設置したクーラーを高さ1mの机の上に上り、清掃作業後、床上に下りるときに足を滑らせて落下転倒し、右腰部を打撲負傷した。	65	2	379	10 ～ 29

14	2017	8	9~ 10	工場内から外へ浮子網を運び出す作業中、ブルーシートに足を滑らせ右膝をつき皿が割れた。一人当たり5~6mで15kgの重さである。	80	2	379	10 ~ 29
15	2017	7	10~11	工場内において座って加工の作業を行っている最中に、椅子が滑って転倒し、腰椎及び骨盤を打撲した。	58	2	379	30 ~ 49
16	2017	7	11~12	工場内において鉄骨の仮組をして動かそうとしたときに、鉄骨が台から滑って左親指を挟んだ。	40	7	521	10 ~ 29
17	2017	7	12~13	当社工場内での梱包作業中宅配便の荷物サイズ厳格化が厳しくなり荷物サイズを小さくするため、腕に負担の掛かる口閉じ作業が続き右肘を痛めた。商品名ビーズクッションを沢山梱包、ビーズクッションは収縮しないので梱包作業が大変な時期だった。	38	19	379	10 ~ 29
18	2017	6	12~ 13	工場において、仕上げアイロンを使用しようとして準備を始め、立ったりしゃがんだりしたところ、立ち上がった時に腰が痛くなった。1週間位前から「腰が痛い」ということを周りの人に言っていた。	33	19	921	10 ~ 29
19	2017	6	17~ 18	会社の自分の席で着物の縫い直しをしている時、落ちた針に気が付かず、スリッパを脱いだ状態で席を立てて針を踏んでしまった。踏んだ瞬間に針が折れ、折れた針先が右足裏の中に残ってしまった。	39	9	521	10 ~ 29
20	2017	6	11~ 12	1階縫製工場にて、バグフィルターの束から1本取ろうとし、品物を持ち取った瞬間に後ろに倒れてしまい、尻もちをついた時に右手を床につき、右手首にひびが入った。	63	2	529	10 ~ 29
21	2017	5	17~ 18	店舗内で商品を持って2階から1階へ階段を降りる際、一段踏み外して左側に倒れ、左足を捻った。	65	1	413	10 ~

										29
22	2017	5	15~ 16	検品処理にて発生したB品を廃棄する為、工程管理検品作業場から廃棄物置き場へB品入れ箱を運び中身を移しかえようとした際、誤って右手首を捻ってしまった。その時は大丈夫と思い、誰にも報告せずに帰宅したが、その後、痛みが出て治まらなかった。	38	19	611			50 ~ 99
23	2017	5	13~ 14	社内工場にて2人1組で自動ミシンによる縫製作業中、糸が無くなり糸切り停止ボタンを押し、1人がミシン内に名入り、下糸が無くなった部分の糸始末をしたところ、もう1人が相手に気付かず元位置復帰ボタンを押してしまい、動く枠部分と台座に挟まれた。	60	7	169			10 ~ 29
24	2017	3	10~11	工場内で商品を移動中、バランスを崩し転倒した。	57	2	417			1~ 9
25	2017	3	10~11	加工作業中、梱包用の綿を入れるダチスとローラーの間に落下綿を拾おうとして無意識に左手を入れてしまい、機械が止まったとき、引き抜いて負傷した。	65	7	121			50 ~ 99
26	2017	3	13~14	社内運動会のソフトバレー競技中に、ジャンプをして着地した時に挫き、右足の踝周辺の靭帯を損傷した。	23	19	418			10 ~ 29
27	2017	2	11~12	工場内作業場カゴ台車通路にて作業中カゴ台車を移動させている時に、他の作業員が押すカゴ台車がぶつかり背中左側を打撲した。	42	6	362			1~ 9
28	2017	1	19~ 20	原料を開織する生産ラインのベルトコンベアーが破れているとの連絡を受け、生産終了後にベルトの縫製修理をし、試運転をしている時、ベルトにくずが付着していたので取ろうと思い手を出してしまい、ロールとベルトの間に手を挟まれた。	47	7	224			50 ~ 99
				工場内の裁断工程において、延反作業時にカットライナーにて						30

29	2017	1	10～ 11	右手親指を約1.5cm程度切断し、接合処置を受けた。カッター作動時に手元から目を離してしまったことが原因である。	21	8	169	～ 49
30	2017	1	4～5	テントより原反を運んでいる時、道が凍っていた為足を滑らせ転倒し、腰を強打し、腰椎横突起を骨折した。	40	2	715	100 ～ 299
31	2017	1	7～8	出勤し、駐車スペースにバックで車を駐車しようとした際、ギアをバックに入れようとしたところ足が滑り、アクセルを踏んでしまい急発進したため、正面の木にぶつかり、両ひざを強打した。	56	3	231	30 ～ 49
32	2017	1	14～ 15	ウエスの裁断中、左横に置いてあるウエス原料に気をとられ、ウエスを裁断するカッターに手がさわり切傷した。	71	8	169	10 ～ 29
33	2017	1	11～ 12	ウエスの裁断をしていて、布地の最後の方を切る際に手に少し力が入り、体が前に傾き、ウエスを裁断するカッターに指先がさわり、左指を挫創した。	40	8	169	10 ～ 29
34	2017	1	14～ 15	出勤時に従業員出入口の階段から足を踏み外し滑り落ち、左手首を骨折した。	70	1	413	30 ～ 49
35	2017	1	13～ 14	裁断場で延反作業中、延反機を元の位置に戻す時に延反機を移動させるスイッチではなく、間違えて生地を切るスイッチを押してしまい、カッターが動きケガをしてしまった。	42	8	169	10 ～ 29
36	2017	1	7～8	ボールコンベアの高さを調整中に、ボールコンベア上にあった金型がストッパーにて止めてなかった為落下し、金型が左手中指上に落ち、不全切断となった。	46	4	224	100 ～ 299
37	2017	1	16～ 17	縫製後の製品に釘打ち機械で釘を打っていて、床に落ちた釘を拾おうとして、誤って右人差し指を打ってしまった。	38	7	169	10 ～

									29
38	2016	12	14～ 15	工場内の縫製場にあるミシンテーブルで縫製作業をしている時に、テーブルに置いてあった糸切りハサミを動かそうと手で払ったら、ハサミの指穴部分がテーブルの上に置いてあった物に当たってハサミが動かず、刃が手に刺さり、負傷した。	37	8	364		10 ～ 29
39	2016	12	8～9	工場内で、フレキシブルコンテナパックのパーツを加工する為に、テーブル型高周波ウェルダ機を使用しているときに、パーツの生地がずれているところを直そうとして手を出しているときに、誤って自分でフットスイッチを踏んで機械を作動させてしまった。自動モードになっていたので、機械のバーが降下して左手人差し指を挟んでしまった。	53	7	169		50 ～ 99
40	2016	12	8～9	織物工場内において、クレーンで吊っている機械の部品交換を行っていた。その際、前かがみで作業する為、胸の辺りに鉄の台が接触した状態にあった。部品を外す時にゆるみができる為、落とさないように力を入れる際に胸の辺りに負荷がかかり、肋骨を骨折した。	40	19	521		10 ～ 29
41	2016	12	10～ 11	同僚と荷物をコンテナから下ろしていた際に、段の上から下ろした荷物を同僚から受け取る時にタイミングが合わず、右側頭部に荷物が当たってしまい打撲した。	34	4	611		1～ 9
42	2016	11	8～9	出勤時に駐車場に着き、車をおりて歩いてすぐに強風にあおられ転び、左足首を骨折した。	64	2	417		1～ 9
43	2016	10	11～ 12	工場内でロットボタンをつけるためにハトメ打機を使って作業をしていたところ、誤って安全装置のペダルを踏んだため、機械が作動し右手中指をはさんで負傷した。	40	7	169		1～ 9
44	2016	10	11～ 12	綿吹き込み機のメンテナンスを実施する為、停止スイッチを押し、右手を入れたところ、綿吹き込み機が完全に停止していない状況であった為、機械内に右手が引き込まれ、人差し指、中指、薬指に傷を負った。	19	6	169		30 ～ 49

45	2016	10	9～ 10	工場から目的地へ向かう途中、通り道に軽トラックが停車していたため、その横を回り、車の後を通過中、軽トラックが急バックし、はねられ、地面で頭を強く打つ。	62	17	221	100 ～ 299
46	2016	10	9～ 10	フレコンバッグに入った麦のシート天幕による燻蒸作業をしている時、ヘルメット、安全帯の着用をしないで作業をし、シートの設置が終わって移動する時に、約2mの高さより何らかの原因にて頭から落下した。	66	1	611	30 ～ 49
47	2016	9	13～ 14	シートハウスのテントの張り替え作業中に、はめていた手袋をサンダーに巻き込んでしまい、負傷した。	69	7	159	1～ 9
48	2016	9	16～ 17	新館から南館へ構内を歩行移動中、業者のトラックが止まって作業をしていた為、避けようとしていつもは通らない端を通ろうとした際、段差に気付かず、足を捻ってしまった。	60	2	417	50 ～ 99
49	2016	9	15～ 16	物流スリッター付近で、タフトタイルロールを梱包している袋をタイル投入の所に取りに行った帰りに、袋を束ねている紐が解けて袋が床に落ち、床に落ちた袋に左足がつまずき、着地した右足首を捻ってしまった。	52	19	611	100 ～ 299
50	2016	9	13～ 14	工場内に於いて2Fの作業場から下りて来る途中、階段下の手前2～3段目あたりで足を踏み外し、階段から地面に落ちた。その時に手をついた為負傷した。	60	1	413	10 ～ 29
51	2016	9	10～ 11	工場内裁断室の延反する台の上で、伸縮性のある薄い生地のスワを伸ばしながら、一定幅に折り返しながら端を揃え重ねる作業中に、生地を強く引っ張った為、押さえとして使用していた文鎮が生地より滑り落ち、台より左足へ落下し左足中指を受傷した。	22	4	379	10 ～ 29
52	2016	8	22～ 23	工場内にて、糸の入った約20kgの箱を移動しようと持ち上げた拍子に腰がぬけた。	24	19	611	30 ～ 49

53	2016	8	15～ 16	工場で荷物の積み下ろしをしているときに、下部に積んであった箱がつぶれていた事に気づかず、その上に積み上げていった所、途中で箱がくずれてきた。後ろを向いていたのでとっさによける事ができず、箱が腰にあたり、それにビックリしてそのまま腰をひねるかたちで体勢をくずしてしまった。	47	5	611	30 ～ 49
54	2016	7	15～ 16	工場敷地内作業場において、高周波ウェルダ－を使い、スタンドバッグを修理加工中、スタンドバッグに鉄型を置き、ウェルダ－圧着する際、手で押さえていた鉄型がずれ、ウェルダ－で左手人差し指を挟んだ。	60	7	169	10 ～ 29
55	2016	6	8～9	配送センターの1階広場で毛布の入ったダンボールの積み込みを2人で作業中、1人がフォークリフトに乗車し、被災者がダンボールを押さえて作業中にフォークリフトの従業員がフォークリフトのツメを上げた際に被災者の右手薬指と接触し、ダンボールとフォークリフトのツメとの間に右手薬指を挟まれて負傷した。	52	7	222	10 ～ 29
56	2016	5	11～ 12	工場内にて、高周波ウエルザ－機によりエプロン製造のための加工作業中、エプロンの紐を作成するため生地を二つ折りにして端の部分を圧着作業中、圧着に失敗した部分が10cm弱程度あり、これを再度圧着するため10cmのバーを使用し圧着を試みた際、右手甲示指の付け根のところが高周波ウエルザ－機のバーを取り付けている台にふれてしまい、火傷した。	48	11	391	10 ～ 29
57	2016	5	8～9	プラットホームのフォークリフトを取りに行く際、通路が塞がれていた為、迂回してプラットホーム側に積んであった樹脂パレットに乗ったが、パレットが滑って約1メートル下の地面に落下し、その際に左手をプラットホームに強打して骨折した。	68	1	417	100 ～ 299
58	2016	5	12～ 13	センターにて、お昼休憩時間になり、2階にある作業道具置場に道具を置いて休憩所へ向かうため、両手に作業で使う道具を持って、3階作業場から2階へ下りる階段の途中で、足を踏み外	57	1	413	10 ～



				して転倒し、右腕を骨折した。				29
59	2016	5	11～ 12	商品（服）の保管作業をしていた際、商品を掛け終わったトロリーを移動させていたところ、トロリーレーンからトロリーが落下し右足拇指に当たり、骨折した。	68	4	361	30 ～ 49
60	2016	5	16～ 17	工場内の天井裏で機械の点検作業中、誤って足を引っ掛け転倒し、天井を突き抜け、床に落下した。	64	1	418	50 ～ 99
61	2016	4	7～8	製織作業場で、風綿やホコリを集める小型集じん機の吸いこみが悪かった為、詰った物を取り除こうと電源を入れたまま左手を入れてしまい、集じん機内のファンが作動中で巻き込まれて、左手指を負傷。	22	7	169	50 ～ 99
62	2016	4	14～ 15	ストレッチャーが閉じていると思い、靴下を取るため指をストレッチャーの所へもっていったところ、まだ閉じきっておらず、はさまってしまい、一瞬の事で、手を抜こうと開くボタンを押したが、間にあわず、右手人差し指の先を負傷した。	45	7	169	30 ～ 49
63	2016	4	11～ 12	検品場にて、検品中、検品台の移動の必要が発生し、4人で持ち上げた時に、不注意に力を入れて持ち上げた。その結果、腰が痛くなった。	59	19	391	1～ 9
64	2016	3	13～ 14	工場において入社以来、敷布団の縫製加工（ミシンによるヘム巻き）の作業に従事しており、この作業は上肢の中でも、左手親指に負荷が掛かりやすく、結果当該箇所に腱鞘炎（ばね指）が生じた。	66	19	169	1～ 9
65	2016	3	15～ 16	染色作業現場で染色作業中に濡れていた床面で足を滑らせてしまい、染料を解くために置いてあった熱湯の入ったバケツに足を突っ込んでしまった。	24	2	416	50 ～ 99
66	2016	3	10～	工場内でFW加工後の製品を検査工程へ運搬後、自分の作業工程へ戻る際、FW作業工程場所へ入ってしまい、前方不注意のため	37	3	169	50 ～

			11	開いていたFW加工機の治具に、右肩を強打した。				99
67	2016	2	15～ 16	ネット検品終了後、ネットをたたみ一人で15kg程度のネットを持って小走りで検収済品のカゴまで運ぶ途中、ネットから垂れていたロープを踏み、前面に倒れ左肘を負傷した。	65	2	379	30 ～ 49
68	2016	2	11～ 12	工場内で鞆にハンドルを取り付けるカシメ作業をしている時に、カシメ機に指をはさまれて左手親指を負傷した。	31	7	159	50 ～ 99
69	2016	2	11～ 12	二階の作業場のスチールの棚を解体作業中にスチールの横板が頭上に落下し、後頭部にあたりその拍子に柱が眉間に当たり鼻の上部にヒビが入り顔面が腫れた。	55	4	521	10 ～ 29
70	2016	1	9～ 10	工場の仕上現場に於いて、仕上アイロン作業の途中でトイレに行こうと合格品置場の区域を横切っしまい、台車に左足が引っ掛かり、バランスを崩して転倒し、右足付け根を骨折した。	62	2	417	50 ～ 99
71	2016	1	11～ 12	工場でカーテンの生地を切る作業中、カーテンをのせていた裁断機の前で足がもつれて、とっさに左手を機械台でささえた時、左手首を強打し、負傷した。	60	3	169	100 ～ 299
72	2016	1	8～9	原紙を製造機のローラー部分にセットをする際に、作業手順では製造機の電源を入れずに手動でハンドルを回して装填作業を行わなければならないところ、モーターの動力を用いて原紙に手を添えてローラー部に挿入してしまった。結果、ローラー部に右手人差し指と中指の先端部分が挟まれ、負傷した。	37	7	169	10 ～ 29
73	2016	1	10～ 11	アパレル商品の検品仕分業務において、商品仕分箱用の蓋を作成するため、段ボールを加工する際、左手で定規を支え、定規に沿って右手のカッターで段ボールを切ろうとしたところ、カッターの刃が定規に引っ掛かり、支えていた左手親指に接触して負傷した。	38	8	364	10 ～ 29

74	2015	12	10～ 11	布団製造工場にて布団製造作業中、綿排出口の綿のかたまりを除去中に、ローラーが回っているところに左手をつき、巻き込まれた。	28	7	163	1～ 9
75	2015	12	15～ 16	工場1階の混打綿室から2階綿入機に綿を送るダクトに綿が詰まり、それを取り除いてダクトを差し直している時に、足を滑らせて、ダクトの切口を手で握ってしまい、右手くすり指を負傷した。	44	2	416	30 ～ 49
76	2015	11	18～ 19	製織作業中、上伸（上糸）あがりビームに残った糸を巻き取るため、通常は電動スイッチで逆転させ巻き戻すが、手動が早いので手で残糸を引っ張っていたところ、勢い余ってビームが高さ190cmのところから落下しフレンジで右足甲を負傷した。	53	4	169	50 ～ 99
77	2015	11	16～ 17	加工温度確認作業後に、プレテンターに戻ろうと階段を下りている時に足がつかず前向きに落ちかけたので、階段途中から飛び降りた。前方に顔面から落ちての全身打撲は防げたが着地の時にかかとを痛めて、骨折した。	57	3	416	50 ～ 99
78	2015	11	9～ 10	作業所内で製品に機械で釦を打ち作業中に機械が途中で停止した。機械停止後、リセットされず直ぐに作動したため右中指が作業場所に置かれており、安全バンがペダルと連動しているため安全バンが降りずに指を挟み負傷した。	45	7	169	50 ～ 99
79	2015	11	11～ 12	ケース詰めした商品の子供用布団を、2トントラックに乗せて、別棟の保管場所に運び、荷降ろし作業中に、トラックの後部荷台から足を滑らせ、約60cm下方の地上に足から落下し、その衝撃で、右足のカカト部を骨折負傷した。	66	1	221	10 ～ 29
80	2015	11	14～ 15	工場内編機のビーム交換準備作業として、編機の台の上に乗リネジを緩める作業をする際、T字レンチでネジに力を入れて回したところ、レンチの先がネジからはずれ、空回りしバランスを崩し、60cm程度の高さより右足から落下した。	55	1	169	30 ～ 49
				4tマニュアルトラックの運転席に座ってエンジンをかけた際、				

81	2015	10	8～9	倉庫の事務所に忘れ物（免許証の入ったバック）をした事に気付 き、エンジンをかけた状態でギアをパーキングにしてサイド ブレーキを引いた後下車し、トラックの前を通り抜け様とした 時、ゆるやかな坂に止まっていたトラックが急に動き出した 為、咄嗟に車を止め様としたが止めきれず、逃げ出そうとし たが道路反対側のコンクリートの擁壁まで押しやられ、トラ ック前方（助手席側）からは逃げ出せたが右足を負傷した。	58	7	221	10 ～ 29
82	2015	10	14～ 15	空ケースを4個ほど持って工場へ行く時、15cm位の段差にけ つまずき転倒した時、右足の膝を鉄板の角に強打し骨折した。	52	2	417	1～ 9
83	2015	10	8～9	カーペットを作業台の上で断裁している時に、足下にカーペ ットがありカーペットに足をとられ転倒して、送りローラーに手 を巻き込んでしまった。	68	7	169	—
84	2015	10	10～ 11	掛布団を生産中に、開綿機が綿づまりを起したので全機械を停 止した。停止後、他の作業員（3名）は開綿機の綿づまりを直し ていた際に、被災者は別の場所の綿づまりを見つけ、これを1人 で直していた。開綿機を直し終った作業者が、被災者が別の場 所を作業していることに気づかずスイッチを入れた為に、スプ ロケットが回転し巻きこんだ。	47	7	169	10 ～ 29
85	2015	9	10～ 11	包装機部分でシール材ができなかった製品を機械を停止させ ずに取りろうとして、左手人さし指を負傷した。	20	7	169	100 ～ 299
86	2015	9	14～ 15	作業場で、アイロン台に着物を移動させている際に、手前にし いてあるザラ板に足をぶつけた。靴下ははいていたが素足だっ たため、小指をぶつけた際、骨折した。	37	3	379	50 ～ 99
87	2015	8	14～ 15	工場内にてエプロン加工機を稼働中、切りくず吸引ホース内で 切りくずが詰まり気味だったので、左手で吸引ホースを揺す っていたとき、近くのベルトコンベアを駆動するチェーンとギア の間に左手人差し指が引き込まれ、反射的に引き戻した際に左	53	7	121	10 ～ 29

				手人差し指の爪先を負傷した。				
88	2015	7	17～ 18	ウレタンプレス機にて作業中、プレス型枠交換の為下段に下りる時、足を踏み外し、左足の甲をひねった。	38	19	416	10 ～ 29
89	2015	7	14～ 15	トラックのコンテナから倉庫に荷物（タオル）を搬入する作業中、コンテナから外へ出ようとしたとき、地面に落ちてしまい、うまく着地できず負傷。	58	1	221	100 ～ 299
90	2015	7	17～ 18	作業終了時に、担当する断裁機の清掃作業において、清掃のために同機の操作停止ボタンを押下し、機械の後方に回り、残留しているコットンパフを取り除こうと右手をもっていったところ、機械操作停止後にもかかわらず惰性で動いていたVベルトに右手中指と薬指を挟まれ、負傷した。	57	7	156	100 ～ 299
91	2015	6	13～ 14	タオル生地にアップリケを縫いつける作業中、作業開始直後で針の動きがゆっくりだったのでアップリケの位置が少しずれていた為、正しい位置に直そうと、針の位置をうっかり確認せずアップリケに手を持っていったところ、針が左手人差し指の先に刺さり負傷した。	41	7	169	1～ 9
92	2015	6	14～ 15	工場内でレザーの重たい反物を棚から搬出中、運ぼうとしていた時に倒れかかって肋骨にあたり、骨折した。	55	5	611	30 ～ 49
93	2015	6	8～9	出勤後、工場入場時ドアの開放止めで使用している紐が床面にたれており、そこに足先がひっかかり、転倒した。	65	2	419	50 ～ 99
94	2015	6	14～ 15	選挙カー看板3段積みの上で作業中、看板の上段が一回り小さくそれにともないしっかりとした足場になっていなかった。移動中、看板が動きバランスを崩し落下。	27	1	611	10 ～ 29
			19～	運転の為、順次機台を始動していてB4の台を運転付けする時、				50

95	2015	5	20	足がすべって手をつこうとする際、ドッファーに手をつきワイヤーにて右手の人差し指と中指を削傷した。	50	7	169	～ 99
96	2015	5	16～ 17	トラックの荷台から現認者と2人で生機を降ろす作業中、現認者がすべって後方にひっくり返ってしまい、座っていた被災者の頭部に現認者の頭部がぶつかり負傷した。	48	6	221	10 ～ 29
97	2015	4	13～ 14	作業中に首の後をハチに刺され、気分が悪くなり救急車により搬送された。	63	90	911	1～ 9
98	2015	4	17～ 18	工場内の階段を下りようとしたときに足をすべらせて落下し右足を負傷した。	75	1	413	10 ～ 29
99	2015	4	16～ 17	床の上に座り、大きなレインカバーの検品及びボタン打ちを朝から夕方まで行っていた。立ったり座ったりしていたので、徐々に足がしびれてきた。	44	19	921	10 ～ 29
100	2015	4	10～ 11	包装用のビニール袋の検針作業をしていたところ、検針器を通ったビニール袋が崩れそうになったため、両手で直そうとした際、誤って検針器のローラーとベルトの間に右手中指を挟んでしまい負傷した。	47	7	169	30 ～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。